

令和8年第1回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日 時	人 数
令和8年2月16日(月) 午前10時～	5人(1番から5番まで)
令和8年2月17日(火) 午前10時～	4人(6番から9番まで)

質 問 位 順	議 席 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 番 号	種 別
1番	12	公 明 党 多 賀 城 市 議 団	齋 藤 裕 子	2	一問一答
2番	5	自 由 民 主 党 多 賀 城 市 議 団	大 場 和 晃	6	一問一答
3番	16	市 民 ク ラ ブ	昌 浦 泰 已	8	一問一答
4番	2	日 本 共 産 党 多 賀 城 市 議 団	伊 藤 真 弓	9	一問一答
5番	10	日 本 共 産 党 多 賀 城 市 議 団	中 田 定 行	10	一問一答
6番	1	日 本 共 産 党 多 賀 城 市 議 団	峪 道 子	11	一問一答
7番	3	多 賀 城 の 未 来 を 照 ら す 会	池 田 純	13	一問一答
8番	7	自 由 民 主 党 多 賀 城 市 議 団	千 葉 文 昭	14	一問一答
9番	11	公 明 党 多 賀 城 市 議 団	阿 部 正 幸	17	一問一答

計 9 名
 総括質問方式： 0 名
 一問一答方式： 9 名

質問順 1番	受付月日	2. 5	通告者	12番 種別	齋藤裕子 一問一答
<p>1 子どもの自殺防止について</p> <p>令和7年に自殺対策基本法が改正され、子どもの自殺対策についての基本理念が明記されました。令和6年の児童生徒の自殺者数は529人で過去最多を更新し、児童生徒の自殺対策の強化は喫緊の課題です。友人関係、不登校、SNS上のトラブル、将来への不安など、子ども達を取り巻く環境は一層複雑化しています。子どもの自殺防止の位置づけが強化され、令和8年度から設置できる対策の方向性も明確になりました。児童生徒の心の健康の充実に取り組み、大切な命を守っていくことが重要と考えます。本市の教育現場での自殺防止の取り組みを伺います。</p> <p>2 保育所におけるサブスクリプションサービスの導入について</p> <p>近年、保育所や幼児教育の環境において、保護者のニーズの多様化が進んでおります。働く親や家庭の状況に応じた柔軟な保育サービスの提供が求められており、おむつ等のサブスクリプション型の保育サービスが注目を集めております。定額料金で一定のサービスを受けられ、保護者が安心して預けられる環境となり、保育士の負担軽減にもつながると考えます。導入のお考えについて伺います。</p> <p>3 木造住宅耐震改修補助拡大の取り組みについて</p> <p>宮城県では令和6年12月、新耐震基準で昭和56年から平成12年に県内で建築された木造住宅の耐震改修に対して、最終工事費の8割(115万円を上限)を令和8年度から補助する方針を明らかにしました。</p> <p>これまで対象だった旧耐震基準の住宅から範囲を拡大して耐震改修の加速化を図るということは重要と考えます。本市の拡充の取り組みについて伺います。</p> <p>また、住宅の耐震化は市民の命と財産を守る上で極めて重要な施策です。本市も補助制度を設けていますが、特に高齢者世帯などにとっては、改修費用が大きな負担となっている現状もあります。こうした課題への対応策として、申請者は耐震工事費用から補助金分を差し引いた額のみを支払い、事業者へは、市から直接補助金額分が支払われる「代理受領制度」があります。木造住宅耐震改修の利用促進に、住宅耐震補助金代理受領制度の導入のお考えについて伺います。</p>					

質問順 2番	受付月日	2. 4	通告者	5番	大場和晃
				種別	一問一答
<p>1 消防団第5分団・第6分団ポンプ車置き場の立地と津波浸水想定への対応について</p> <p>本市防災ハザードマップにおいて、消防団第5分団及び第6分団のポンプ車置き場が、津波浸水想定区域内に位置していることが示されております。消防団は地域防災の最前線を担い、災害発生時には初動対応の中心となる極めて重要な組織であります。その拠点が浸水リスクにさらされている現状は、災害時の機能確保の観点から課題であると考えます。</p> <p>つきましては、以下について伺います。</p> <p>(1) 当該2か所のポンプ車置き場が津波浸水想定区域内に立地している現状について、市としてどのように認識しているのか伺います。</p> <p>(2) 津波発生時における消防団の初動体制は、現状どのようになっているのか伺います。</p> <p>(3) 消防団の機能を確実に維持するためには、より安全な場所への移転も選択肢として検討すべきと考えますが、市の見解を伺います。</p>					
<p>2 津波注意報・警報発表時における避難行動について</p> <p>津波に関する注意報・警報が発表された際、市内の沿岸部から内陸部に向かう道路で渋滞が発生している状況が見受けられます。</p> <p>本市では原則として徒歩避難を呼びかけていると承知しておりますが、実際には車で避難する市民が一定数存在し、結果として渋滞が生じている現状があります。</p> <p>この“徒歩避難の原則”と“実際の避難行動”の乖離は、甚大な被害につながる可能性があり、改善すべき課題であると考えます。</p> <p>つきましては、以下について伺います。</p> <p>(1) 津波注意報・警報発表時における市民の避難行動について、市としてどの程度把握しているのか。</p> <p>(2) 徒歩避難を原則として周知しているにもかかわらず、実際には車避難が多く渋滞が発生している現状について、市はどのように認識しているのか。</p>					

質問順 3番	受付月日	2. 3	通告者	16番	昌浦泰己
				種別	一問一答
<p>1 市長の施政方針から</p> <p>(1) 市長は災害時、特に配慮が必要な方の個別避難計画の策定を早急に進めてまいりますと述べられました。令和8年度は計画の策定はどこまでの進捗を想定されてますか。</p> <p>(2) 子ども計画等策定事業について、令和8年度はどこまでの進捗を想定されてますか。</p>					

質問順 4番	受付月日	2. 4	通告者	2番	伊藤真弓
				種別	一問一答
<p>1 学校給食費の「無償化」について</p> <p>新年度から小学校給食の「負担軽減」を行うこととなった。本市として、保護者負担を無くし、「給食無償化」となるよう予算措置を求める。</p> <p>(1) 小学校給食費の国、市、保護者負担の財源内訳を問う</p> <p>(2) 中学校給食費の国、市、保護者負担の財源内訳を問う</p> <p>(3) 来年度の中学校給食費及び再来年度以降の小中学校の給食費の保護者負担を無くすように、市が責任をもって予算を立てるよう求めるがいかがか</p> <p>2 多賀城市物価高騰対策について</p> <p>みやぎポイントを受けられない人には、5,500円の現金支給に増額して3,000円を支給できるようにしたらいかがか</p> <p>3 市役所の開庁時間変更について</p> <p>1月より開庁時間を試験的に短縮した。今後の本格実施に向けた対応について伺う。</p> <p>(1) 変更によって明らかになったことは何か</p> <p>(2) 時間内に来庁できない人がいる。電話やFAX、メールで受付をして、時間外に対応できるようにしたらいかがか</p>					

質問順 5番	受付月日	2. 3	通 告 者	10番 種 別	中 田 定 行 一問一答
<p>1 胃がん検診内視鏡検査について</p> <p>要望していた胃がん検診の内視鏡検査が令和8年度から実施されます。その実施内容について伺います。</p> <p>(1) 対象年齢を50歳以上としたこと、受診間隔を隔年（2年に1回）とした理由は何か。また、内視鏡検査受診翌年はバリウム検査もできないとしているのは何故か。</p> <p>(2) 自己負担額を50～69歳5,100円、70歳以上1,700円とした理由及び根拠は何か。</p> <p>(3) 令和9年度以降は奇数・偶数の年齢制限がなくなり、前年度内視鏡検査を受診していなければ受診対象になるとのこと。この場合も(1)の受診パターンとなるのか。</p> <p>2 文化センター内に点字誘導ブロック及び階段等に警告ブロックを敷設することについて</p> <p>令和7年12月11日付で多賀城視覚障害者福祉協議会会長から要望書の提出があり、令和7年12月26日付で回答したことについて伺います。</p> <p>要望書は、文化センター内に点字誘導ブロック等がないため視覚障害者が西側に通じる階段から踊り場まで転落した事例を踏まえ、文化センター内に点字誘導ブロック及び階段等に警告ブロックを敷設していただきたいというものです。</p> <p>回答は、大ホール以外の場所については、今後の改修工事に合わせ、敷設していく予定です。実施時期は調整中なので今しばらくお待ちいただきたい、というものでした。</p> <p>実際に事故が起きているのであり、本格的な整備は改修工事時期にやるにしても、応急措置・道路の工事現場で臨時の点字誘導ブロック敷設のような対策をとるべきだと考えますが、いかがですか。</p>					

質問順 6番	受付月日	2. 4	通告者	1番 種別	峪 道 子 一問一答
1 高齢者福祉施設の整備について					
(1) 特別養護老人ホームの入居希望者（待機者）が昨年10月時点で全県では約1万3千人にのぼり、市内にある2か所の施設だけでも入所希望者が100人を超えており、多くの人が入所を待っている状況です。市は、市民の特養ホームの入居希望者数の実態をどう把握し、対策を考えていますか、お示しください。					
(2) 市民から住み慣れた地域で生活を続けられる地域密着型特別養護老人ホームの設置・誘導を市が主体的に取り組みたい。また、小規模多機能居宅介護について、地域における要介護者に対する包括的な支援体制として生活圏ごとへの整備に力を入れられたい。					
(3) 国、県に対して特別養護老人ホームの建設費補助を増やすよう働きかけられたい。					
2 介護事業所、介護職員への支援について					
(1) 一昨年、訪問介護の基本報酬が引き下げられ訪問介護事業者の運営を圧迫し大きな社会問題になった。低い介護報酬で介護の現場を支えている介護事業者、介護職員の実態についてどう把握し、対策を考えているのか、お伺いします。					
(2) 深刻な介護士の人手不足の解消へ、事業所の収益補填や費用補助とともに、低い賃金で働いている介護職員に市で独自の支援策を検討し、実施されたい。					
(3) 国に対しては、職員配置基準の改善と専門職にふさわしい給与と処遇の改善を強く働きかけられたい。					
3 高齢者福祉計画「第10期介護保険事業計画」について					
(1) 第9期計画において実施した施策について検証・評価を行っていると考えますが、その内容をお示しください。					
(2) 第10期介護保険事業計画の策定にあたっては、質問の大綱1、2の要望を盛り込み、市民誰もが安心して介護サービスを利用できる計画にされたい。					

質問順 7番	受付月日	2. 5	通告者	3番 種別	池田 純 一問一答
-----------	------	------	-----	----------	--------------

1 情報公開の在り方について

開かれた市政や市民との信頼関係構築のため、情報公開は極めて重要である一方、権利の濫用と解されるような開示請求等により、職員の業務に支障が出るようなケースも想定される。市民の知る権利の保障と情報公開の一層の推進を求めつつ、行政コストと受益者負担の観点から以下質問する。

- (1) 多賀城市情報公開条例（以下「条例」という。）第21条に情報公開の総合的推進について規定されているが、同条に基づき、これまで本市でどのような情報提供施策及び情報公表制度を推進してきたのか伺う。
- (2) 権利の濫用と解されるような著しく不適正な開示請求に対し、当該請求を却下できるよう条例に規定を設けるべきと考えるがどうか。
- (3) 開示請求に対し、手数料を徴収すべきと考えるがどうか。

2 学区再編について

小中学校の通学区域適正化に向けては、令和6年度に多賀城市小中学校区検討会議を2回開催し、保護者アンケートを踏まえ、学習環境の充実と通学環境の向上の視点で検討を進めていくこととなった。速やかに具体的な検討に移るべきと考え、以下について伺う。

- (1) 令和7年度の検討状況について
- (2) 保護者への検討状況の説明について
- (3) 今後のスケジュールについて

3 スポーツウェルネス施設について

本市では、老朽化している総合体育館及び市民プールに一部学校プール機能を新施設「スポーツウェルネス施設」に集約することとし、そのコンセプトを定める「多賀城市スポーツウェルネス施設整備基本構想」を令和7年11月に策定した。令和8年9月までに基本計画の策定を目指していることから、以下について伺う。

- (1) 公募型プロポーザルにより実施した「多賀城市スポーツウェルネス施設整備基本計画策定支援業務」の進め方について
- (2) プール機能について合築・別棟のパターン別に施設計画及び外構計画を整理することとされているが、最終的にどのような観点でプール機能を合築か別棟にするか決定するのか。

質問順 8番	受付月日	2. 3	通告者	7番 種別	千葉文昭 一問一答
<p>1 行政及び教育分野におけるA Iの活用について</p> <p>(1) 全国の自治体において業務の効率化や住民サービスの向上を目的としてA Iの活用が進められているが、本市の自治体業務におけるA I活用の現状と将来の方向性について伺う。</p> <p>(2) 全国の教育現場において生徒の学びの個別最適化や教職員の業務効率化を目的としてA Iの活用が進められているが、本市の教育現場におけるA I活用の現状と将来の方向性について伺う。</p>					

質問順 9番	受付月日	2. 4	通告者	11番 種別	阿部正幸 一問一答
<p>1 南門等周辺整備について</p> <p>令和7年4月25日に多賀城跡ガイダンス施設がオープンして、多くの方々が多賀城南門、多賀城碑、政庁跡などへお越しいただいております。そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 市道新田浮島線により分断されている多賀城南門と政庁南大路の連続性の確保について</p> <p>(2) 南門近くの市道新田浮島線にある電線について</p> <p>(3) 国宝多賀城碑の保存について</p> <p>(4) 南門周辺にある大路両脇の側溝を渡るために設置してある擬木製側溝蓋について</p> <p>(5) 多賀城跡ガイダンス施設が開館していることが、来訪者へ分かるようにすることについて</p> <p>2 児童・生徒の不登校、心のケア等の対策について</p> <p>本市の児童・生徒の不登校、心のケア等の対策について伺います。文教厚生常任委員会では、昨年11月に岡山県総社市「ひきこもり支援事業」の視察調査を行い、対面困難な当事者に安心感と交流機会を提供するメタバースを活用した仮想居場所の取り組みを行っています。</p> <p>不登校や心のケア等の対策として、メタバースを活用した取り組みを本市でも行っていただきたい。</p> <p>3 市庁舎エントランス棟市民ホールの活用について</p> <p>来年度の6月から市庁舎エントランス棟が供用開始することから、これまで市庁舎ロビーで行われている障がい者施設の就労支援の物販や芸術文化に身近に感じる事が出来るようなコンサートの開催をはじめ、更には市内小中学校等の展示などが、エントランス棟市民ホールで出来るようにしていただきたい。</p>					